



# おまち

Vol.  
141

2024. 3. 1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県国土整備部都市計画課企画推進係



令和5年4月6日(木)に完成した太田市総合体育館(オープンハウスアリーナ太田)



## び〜!び〜! 官民連携まちづくり

- 「まち、わたし、ひろがる」～スポーツを通じた官民連携のまちづくり～
- あの記事は今 No.9 官民連携まちづくり相談会  
～まちづくりに関するお悩み、一緒に考えます～

【投稿】 **令和5年度 富岡市景観まちづくり講演会**  
～里山景観は、誰のもの?二拠点生活の視点で地域の景観を考える～

【トピックス】 **川場村役場新庁舎が完成しました**

【マーチィ'sROOM】 ●マーチィに訊け まちづくりライブラリーからおすすめの一冊  
●マーチィVOICE まちづくりプレイヤー紹介  
●マーチィの掲示板 前橋市が国土交通大臣表彰を受賞しました!

【まちづくりイベント情報】 ●県内で行われるイベントの紹介  
●まち'sクリの独り言





# 「まち、わたし、ひろがる」 ～スポーツを通じた官民連携のまちづくり～

太田市 スポーツ振興課、スポーツ施設管理課

太田市は、北関東随一の工業都市として多くの雇用を創出していますが、観光消費を中心とした域内消費が少ないことから、その拡大が課題となっています。以下では、スポーツとまちづくりの親和性に着目した本市の官民連携による取り組み(「スポーツによる持続可能なまちづくりプロジェクト」、「OTA アリーナ(仮称)を核としたまちづくり推進計画」)をご紹介します。

## ■ 契機

運動公園内に存在する市民体育館の老朽化及び災害時における避難所の運営に課題が生じたことから、建て替えの機運が生じました。それに伴いスポーツを通じた地域活性化や経済活性化を目指して、「スポーツによる持続可能なまちづくりプロジェクト」を策定しました。計画の中心施設となる太田市総合体育館(オープンハウスアリーナ太田)は、スポーツの持つ成長性を取り込みつつ、地域経済の持続的成長を実現していくための新たな交流拠点と位置付け、集客を図ることで年間を通じた賑わいを創出していくことを目指しています。

建設される施設を核としてまちづくりを進めるため「太田未来創造会議」への参加者を募集し、3回のワークショップを重ねてきました。参加者の意見をもとに作成された「OTA SPORTS VISION BOOK」には、スポーツでまちをひろげるための自由なアイデアが綴られています。

## ■ 具体的な取り組みについて

### (1) 関連施設の整備

令和5年4月にコンパクトなアリーナに劇場型照明を有し、国内トップクラスの観戦環境を備えたオープンハウスアリーナ太田が完成しました。

アリーナの建設と並行して公園内の通路や広場の整備を行い施設のフラット化を図り、またウッドデッキを有する花壇の設置などを行って利用者が安全・安心にご利用いただける施設としました。

また公共交通の拠点であるバスターミナルやスポーツ広場に3×3バスケットボールコートを整備して、気軽にバスケットボールを楽しむ空間を創出しました。



整備された運動公園



## (2) OTAマルシェ

オープンハウスアリーナ太田での群馬クレインサンダーズホームゲーム開催時には、チームと観光交流協会が協働し、「OTAマルシェ」が開催されています。新たに完成した中央ステージではステージイベントが開催され、休憩所も臨時に増設されるなど、運動公園内は毎回多くの来場者で賑わっており、交流人口の増加を通じた地域経済の活性化が期待されます。



マルシェの賑わい

## (3) 太田スポレク祭

28回目となった2023太田スポーツ・レクリエーション祭では、2日間にわたり園内に多数の来場者がありました。みんなの力でまちを元気にしたいというコンセプトで1日目に開催した「応援フェスティバル」では、サンダーズオフィシャルチアダンサーのサンダーガールズにオープニングを飾っていただき、市内団体、県内高校チームと日本体育大学ソングリーディング部の特別出演により、オープンハウスアリーナが老若男女で埋め尽くされました。余談ですが、出演団体の指導者同士が大学時代の友人であり、数年ぶりにこのイベントで再会したというエピソードも聞こえてくるなど、スポーツの力で人の繋がりが「ひろがる」ことを実感しました。



応援フェスティバルの様子

## (4) 広報活動

運動公園でのイベントに加え、スポーツによるまちづくりに関する積極的な広報活動も実施しています。

- ・ 市役所職員を中心に、執務中「サンダーズ応援ポロシャツ」を着用
- ・ 太田駅の北口、南口のシェルターにサンダーズのフラッグを設置
- ・ 日本郵便株式会社とも共同し、市内26箇所の郵便ポストを市内小学生の投票によって選ばれたデザインにラッピング
- ・ 東京ドームで開催された第94回都市対抗野球全国大会では、5年ぶりに太田市代表として出場したSUBARU野球部の応援バスツアーを実施
- ・ 秘書室、広報課と協働して東京ソラマチで開催されたイベントに出店。チームスタッフも合流し、「スポーツのまち」と「ものづくりのまち」を同時にPR など



太田駅でフラッグがお出迎え



ラッピングされた郵便ポスト

## ■ 終わりに

今後も、様々な部署、様々な主体と連携しながら、スポーツを通じたまちづくり施策の深化を図っていきたいと考えています。



あの記事は今 No.9

# 官民連携まちづくり相談会 ～まちづくりに関するお悩み、一緒に考えます～

群馬県 県土整備部都市計画課、官民連携プロジェクトチーム  
株式会社 駐車場をさがせ

群馬県都市計画課では、官民連携まちづくりの支援の一環として、官民間わずに相談できる「官民連携まちづくり相談会」を計3回実施しました。(詳細は138号をご覧ください)

官民連携まちづくりを進める上で重要なのは、よりよい地域のためにという公共心を持った民間事業者と行政が連携し、持続可能な地域の発展につながっていくかという視点です。

今回、「官民連携まちづくり相談会」を実施したことで、そのような想いを持ったたくさんの民間事業者の方とお会いすることができましたので、相談内容も含めて、その一例をご紹介します。

## ■ 相談者：株式会社駐車場をさがせ の紹介

株式会社駐車場をさがせ は【車社会群馬県】において、全国的にも珍しい月極駐車場専門会社であり、【駐車場開発、利用者様募集、管理、運営コンサル】事業を行っている会社です。しかしながら、[土地の有効活用]×[社会問題解決]を通じて[まちづくり]に寄与する、という社会課題の解決にも寄与したいという公共心をもった会社です。



駐車場のミカタによる空き駐車場  
(前橋市役所西月極駐車場)の活用事例

## ■ 相談内容：【駐車場のミカタ】について

【駐車場(遊休地)】を【スペース】と捉え、時勢に合った【使い手、まちが必要とする使い方】を日々模索していくなかで、今回＜駐車場のミカタ＞事業が誕生しました。事業名に込められた想いは【駐車場(遊休地)】の更なる、意味ある活用を目指し土地、利用者、まちの《味方》となり寄り添い、声を聞く事。そして常に柔軟な《見方》視点を持ち活用する事です。官民間わず存在する【スペース(遊休地)】の活用を、今回の相談会という貴重な機会を頂き、官民連携しての【スペース情報の共有】【活用方法の模索】を通じ連携して[まちづくり]に寄与出来ないかと相談させて頂きました。相談会当日は、親身にご相談に乗って頂けただけでなく、具現化に向けて現在まで様々なご協力を頂いております。

## ■ 株式会社駐車場をさがせ の他の官民連携の事例



下仁田町の「ご当地自動販売機」

また、相談会の中で、弊社が運営する県内事業者との交流促進を目的とした【イノベーション自販機】(県庁32階NETSUGEN前に設置)についても、官民連携プロジェクトチームの方を通じて下仁田町様とお繋ぎ頂き「下仁田町街なか活性化事業基本計画」基本方針の一つである「つくりだす」の具体的な取組み「新たなビジネスの創出」として下仁田町で当地自動販売機2台の試験的な設置協力に至りました。

今回の相談会を通じて【道は違えど志は同じ】チームの方々とお会いした事、かつ相談だけではなく僅か半年で官民連携、まちづくりの具体化までできた事は感謝しかありません。



# 令和5年度 富岡市景観まちづくり講演会 ～里山景観は、誰のもの？二拠点生活の視点で地域の景観を考える～

富岡市 建設水道部 都市計画課

富岡市では、景観形成の推進と市民景観意識の向上を目的として、平成21年度より「富岡市景観まちづくり講演会」を開催しています。今年度は、群馬県・群馬県都市計画協会と共催で、令和6年2月3日(土)に富岡製糸場 国宝「西置繭所」で実施し、学生・一般の方から行政関係者まで、約110名にご参加いただきました。今回は、「市民主導」をキーワードに、市民レベルで景観まちづくりに取り組んでいる方々に焦点を当てました。

## ■ 講演会の講和内容

「里山景観は、誰のもの？～二拠点生活の視点で地域の景観を考える～」と題し、NPO法人南房総リパブリック代表理事の馬場未織(ばば みおり)さんにご講演いただきました。馬場さんは、建築ライターとしてご活躍のかたわら、素晴らしい田舎の里山景観に惹かれ、2007年より、週末は都内から千葉県南房総市へ移動している二拠点居住の先駆者です。里山学校や古民家改修エコリノベなど、里山景観の維持保全のために市民主導で、みんなで楽しみながら取り組んだ事例をご紹介いただきました。地域と深く関わることで地域に対する愛着が生まれ、愛着を持つ人々の協働により、その地域の景観が維持されているそうです。光も影も含め景観を「中」から見るのが、新しい景観の汲み取り方であり、つくり方であるとのお話をいただき、聴講者の共感と感心を集めていました。



馬場 未織さん

## ■ 市民連携でつくる講演会

毎年、富岡市の景観まちづくり講演会は市民、事業者を巻き込み、協働・連携して楽しみながら企画しています。今回は、会場に合った装花を富岡実業高校の生徒さん方がご担当されました。また、あさや呉服店さんのご協力により、講師には富岡製糸場のイメージに合う袴姿でご登壇いただきました。そして、同時開催の景観賞表彰式の記念品を、木工教室を営むnorimokuさんに制作していただきました。記念品は、受賞者である東富岡地区地域づくり協議会のかかし祭りから着想を得た、オリジナルのかかしトロフィーです。休憩時には、スターバックスコーヒー富岡店さんから南房総をイメージしたコーヒーのご提供があり、華やかで和やかな雰囲気の講演会となりました。



講演会の様子



景観賞記念品トロフィー

## ■ 景観行政としての想い

今回の講演会では、市民主導による地域活動を通し、心の豊かさを得ていく過程の副産物として景観保全が生まれている事例をご紹介いただきました。資金を多く投入する景観保全活動との比較は難しいですが、景観まちづくりにとって重要なのは、一過性のイベントではなく、継続することだと考えます。人口減少が進む地方都市にとって、地域の「中」に入り、長く地道な活動をする人を増やすこと=人づくりが、景観まちづくりの肝になると感じました。





# 川場村役場新庁舎が完成しました

川場村 むらづくり振興課 拠点構想推進係

## ■ 川場ベースとは

川場村では、三世代先を見据えた意思決定の仕組みとして「川場村100年憲章」を策定しました。

そこでは、滞留・交流人口の維持、増加を図りながら、老朽化した村施設の更新を行うとともに、災害・有事への備えを行うことが謳われています。こうした理念を具体的な将来像へと繋げるべく、持続的な経済・文化発展の基盤をつくることを目標とした新拠点構想が生まれました。



kawaba Base(川場ベース)

今回の整備は、役場庁舎を中心にむらの学習館、交流ホール、エネルギーセンター、防災倉庫が連絡ブリッジによってつながっています。

拠点施設は、これからの村の中心となるという意味を込めて「kawaba Base(川場ベース)」と名付けられました。これらの施設が村内外の人々に親しまれ、未永く愛される施設となることを期待しています。

## ■ 川場村の森林資源の活用

川場村は、村の面積の約86%を山林が占めています。

そのため新しい庁舎では、林業を産業とする村のイメージを可視化する意味でも、構造材や外壁などに豊富な森林資源を活用すべく、地元産木材を積極的に利用しています。

川場村が保有している「村有林」で特徴的なものが、明治43年に創設され100年以上にわたって村民によって守られ続けている「学校林」です。昔から下草刈りなどの手入れを村の子どもたちの奉仕活動として実施し、伝統行事として今も引き継がれています。川場ベースでは、これら村有林の木材を伐採し、内外装に利用しています。



ホワイエ(庁舎2F)

## ■ 自然エネルギーの取り組み

新たな拠点となる庁舎をはじめとする各施設の使用に合わせて、高効率・省電力設備機器の採用等を考慮した計画であることはもちろんですが、自然通風や自然採光を取り入るなど積極的に自然エネルギーの活用も図っており、さらに、木チップを燃料とする木質バイオマスボイラーと太陽光発電などの再生可能エネルギーも採用しています。木質バイオマスボイラーは、空調熱源として冷房時は温水焚吸収式冷温水器を介して冷水を供給、暖房時は温水を直接利用することで年間を通じた運用を行っています。



木質バイオマスボイラー本体内部

拠点施設の屋根等には合計204枚の太陽光パネルが設置されており、日常的に施設で利用するほか、蓄電池を備えていることで災害時の利用も可能となっています。

災害の長期化に対する水源の確保を目的として、屋根雨水の集水による雑用水(トイレの洗浄水)利用も行っています。むらの学習館地下ピットに設けた雨水貯留槽及び濃過装置を介して雑用水槽に貯水し、停電時にも運転が可能なポンプを利用して、各施設へ送られています。

## ■ 新庁舎の落成式

新庁舎の完成に伴い、役場新庁舎落成式が令和5年10月29日に開催され、会場となった交流ホールには国会議員を含む関係者約250名が集まりました。式典を盛り上げる川場キッズ(川場小学校の生徒)のバンド演奏やバルーンリリース等、村民も参加して盛大にイベントを実施しました。

今後は、川場ベースを拠点として、様々なイベントや催し物を企画・実施し、村の活性化とにぎわいを創出すると共に、能率的な行政を推進し産業・文化の発展と村民の福祉向上に専念していきます。





# マーチィ's ROOM

## マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!  
「ストリートファイト：人間の街路を取り戻したニューヨーク市交通局長の闘い」  
著 ジャネット・サディク＝カーン、セス・ソロモノウ (学芸出版社)



今号のおすすめ  
ライブラリーはこちら!



元ニューヨーク市交通局長であるカーン氏の6年7ヵ月にわたる街路をめぐる闘いの記録です。街路の歩行者空間拡大、構造分離型自転車レーン整備、シェアサイクルサービス開始、バス専用レーンの設置と急行バスシステム導入等にあたり、試行とデータに基づく対話により市民を味方につけ、メディア・一部の反対派住民グループ・政治家に一步一步勝利し、施策を前進させていく様は、まさに「ファイト」です。

これらの施策を短期に成し得たのは、市長の理解と支援に加え、局内外の職員との信頼関係によること、本文や4ページに渡る謝辞に記されている職員名の多さで分かります。

巻頭のカラー写真30ページと本文中65枚の図・写真が視覚的にもテンプレにヒットしますが、YouTubeでカーン氏のTED講演を視聴してから本書を読むと、施策概要と彼女の人物も掴めるので、臨場感と読書スピードが倍増します。

なお、カーン氏退任6年後の2019年夏のNYも、上記施策は当たり前のように機能していました。

※TED(Technology Entertainment Design)：ニューヨークに本部を置くNPO団体で、様々な分野のエキスパートによる講演(プレゼンテーション)を主催。これまでにビル・ゲイツ、アル・ゴアなど多くの著名人がTEDでプレゼンしている。

## マーチィ VOICE

### ●まちづくりプレイヤー紹介● 株式会社駐車場をさがせ 代表取締役 船越谷 尚彦

株式会社駐車場をさがせは全国的にも珍しい月極駐車場専門会社であり、経営理念を「我々は高崎の月極駐車場に宇宙一詳しい会社です」とし、管理駐車場848箇所、管理台数11,600台の駐車場運営を行っております。我々の大切に想う事、根源にあるものは決して【駐車場】という活用手段ではなく[土地の有効活用]×[社会問題解決]=[まちづくり]に寄与するという揺るがない目的と想いです。東京ドーム約5.6個分の土地活用を担っており、常に【地主様】【利用者様】そして【まち(地域)】の〈三方良し〉となる活用方法を模索し、具現化して参りました。県庁のイノベーション自販機の設置や、下仁田町で当地自販機2台の設置協力などはその一例です。〈土地、不動産〉は[不変]ですが、〈活用方法〉は常に[可変]であるべきと考えております。それぞれの土地の声に耳を傾けポテンシャルを最大限引き出せる活用方法を具体化出来るよう邁進する事、加えて、その活用方法は、我々が決めるのではなく、利用者様、まちづくりの中に必ず最適解があると思います。土地活用をお任せ頂いている会社の責務として官民間問わず広く繋がりを持ち、連携し土地活用の最適解を探求し、具現化して参ります。お陰様で新たに自販機をさがせ事業、駐車場のミカタ事業も加わり活用の幅も確実に広がっております。土地活用、利用にお悩みの方、是非お気軽にお声がけください!

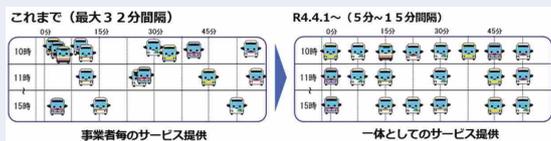


駐車場をさがせ 事業例 船越谷 尚彦さん(画像右)

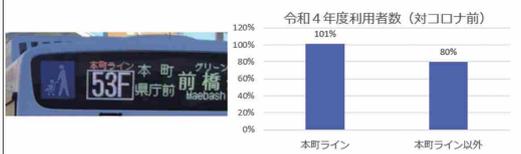
## マーチィの掲示板

### 前橋市が国土交通大臣表彰を受賞しました!

前橋市 交通政策課 総合交通係



R4.4.1から「本町ライン」としてブランディング化、11路線の利用者数はコロナ禍前の令和元年度以上の水準まで増加  
中心市街地への来訪者も増加傾向



令和5年12月13日、地域公共交通に関する取り組みが他地域の模範となるような顕著な功績であったとして、前橋市が「地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰」を受賞しました。

独占禁止法特例法を活用し、前橋市内バス事業者6社をとりまとめ、前橋駅～本町(中心市街地)～県庁前間の運行ダイヤを等間隔化したことやMaaSの運用においてマイナンバーカードとの認証・連携などのデジタル化を推進し、利用者の増加に積極的に取り組んだことが評価され、県内では前橋市が初めて表彰されました。



式典は、国土交通省において大変厳かな雰囲気の中開催されました。

今後も公共交通が利用しやすくなるよう様々な取組に挑戦していきたいと思ひます。





# まちづくりイベント情報



## 沼田駅開業100周年記念イベント

沼田駅が3月31日で開業100周年を迎える事を記念して、沼田駅及び駅周辺でイベントを開催します。当日はミニ列車運行や沼高・沼女の高校生が考えた「駅からハイキング」、写真展、飲食ブースや物産展、ご当地キャラクター着ぐるみ登場など様々なイベントが行われます。また駅舎内ではJRのイベントも行われますので、是非お越し下さい。

■3月31日(日)10:00~16:00

■沼田駅周辺

【お問い合わせ先】

沼田駅開業100周年記念

イベント実行委員会

担当 真下

TEL 090-4840-1798



## 令和6年度富岡製糸場観桜会

春の世界遺産・富岡製糸場で桜を楽しみませんか。世界遺産登録10周年を記念して、様々なイベントや出展を予定しておりますので、ぜひご来場ください。※富岡市民・未就学児・障害者手帳をお持ちの方と介護者(1名)以外は、富岡製糸場の見学料がかかります。

■4月6日(土)9:00~16:00

4月7日(日)9:00~15:00

予定

■富岡製糸場西置繭所

多目的ホール及び前庭

【お問い合わせ先】

富岡製糸場観桜会実行委員会

TEL 090-8000-6581



## あぶだ福寿草の里

1.5haの園内に福寿草と紅梅が咲き誇る「あぶだ福寿草の里」。3月2日(土)には、福寿草まつりが開催される予定です。

■2月15日(木)~3月24日(日) 9:00~16:00

※閉園日は、開花状況により変更となる場合があります。

■あぶだ福寿草の里

群馬県甘楽郡下仁田町

大字中小坂2590

【お問い合わせ先】

下仁田町観光協会

TEL 0274-67-7500



## 甘楽町発足65周年記念事業

### 第37回城下町小幡さくら祭り「武者行列」

甘楽町の春を彩る最大のイベント。桜花舞う中、馬上の大将とそれに続く織田隊が鎧・甲冑に身を固め華やかな戦国絵巻を繰り広げます。今年は特別ゲストとしてNHK大河ドラマ「どうする家康」に織田信雄役で出演した浜野謙太さんを迎え開催します。

■3月31日(日)

武者行列10:00~12:30

凱旋式13:00~

■甘楽町小幡

【お問い合わせ先】

産業課 商工観光係

TEL 0274-64-8320



## 館林さくらまつり・こいのぼりの里まつり

【こいのぼりの里まつり】市内に約4,000匹のこいのぼりが掲揚されます。また、4月2日(火)は世界自閉症啓発デーに合わせてブルーライトアップを行います。

■【さくらまつり】3月23日(土)~4月9日(火)

【こいのぼりの里まつり】3月23日(土)~5月10日(金)

さくらまつりのぼんぼりの点灯は18:00~22:00(予定)

(近藤沼公園、多々良保安林は21:00まで)

■【さくらまつり】鶴生田川両岸(城町他)、多々良保安林、近藤沼公園

【お問い合わせ先】

館林市観光協会

(つつじのまち観光課 観光振興係)

TEL 0276-74-5233



## .....おしらせ.....

### 官民連携まちづくりシンポジウム2023

昨年、まちなか活性化事業基本計画を策定した下仁田町で、まちの魅力と一緒に考えることを目的にシンポジウムとマルシェを同時に開催します!

■3月16日(土)10:00~15:00(予定)※マルシェについては雨天中止

■下仁田町こんにゃく手作り体験道場前広場

■シンポジウム登壇者

株式会社HAGISO 宮崎 晃吉(みやざき みつよし)様

公共R不動産 飯石 藍(いらいし あい)様

■シンポジウムタイムスケジュール

群馬県都市計画課HPでお知らせします。

<https://www.pref.gunma.jp/soshiki/171/>



## 帝京大学 経済学部 観光経営学科

Faculty of Economics Department of Tourism Management

幅広い教養、豊かな国際感覚、確かな専門知識と行動力をあわせ持つ人材を育成します。

・観光産業を経済学、経営学の流れの中で学ぶ。

・旅行業務取扱管理者資格取得に向けて、万全のフォロー体制。

・実地で旅行業務が学べる「実習授業」が豊富。

春のオープンキャンパス【イベント：対象学部】

2024年3月23日(土)

10:00~15:00

八王子キャンパス

・大学説明

・体験授業

・学科説明

・キャンパスツアー

・フリートーク

・経済学部(地域経済学科除く)

・法学部・文学部

・外国語学部・教育学部

・医療技術学部(健康スポーツコースのみ)

・帝京大学短期大学



申し込みはこちら

帝京大学 本部広報課

TEL: 0120-508-739

〒192-0395 東京都八王子市大塚 359

URL: <https://www.teikyo-u.ac.jp/>

## まち'sクリの独り言



今年度も滞り無く「おっ!まっちい~」を発刊することができ、寄稿に御協力いただいた皆様に感謝です。今年度は、5月に新型コロナウイルスが5類感染症に移行してイベント開催も増えて、久しぶりににぎわいが戻ってきた感があるクリ。

これからも、まちづくりの取り組みやイベント情報を提供していくクリ。是非御覧いただき、イベントにも足を運んでほしいクリ。

来年度も引き続き、「おっ!まっちい~」をよろしくお祈りしますクリ~。

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】群馬県国土整備部都市計画課企画推進係

TEL 027-226-3661 URL <https://www.pref.gunma.jp/page/11493.html>

